



# 校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠

## 自己の実践を踏まえて 語り合う!

「小中で創る『未来の学び』実践事業」阿賀中学校区授業研究の3回目を昨日実施しました。この度は、阿賀中学校 黒田 良教諭による第1学年社会科の授業提案でした。これまでのご自身の授業の型を破ることに果敢に挑戦する中で、本中学校区が目指す授業における「居場所」づくりを追究しようとした授業でした。

授業者の黒田教諭が目指したのは、個別最適な学びと協働的な学びの相互作用で「わかった・できた」が実感できる授業!

この度の協議会は、各自、実践中の授業における「居場所」づくりの取組と絡ませながら、語り合えること!



目指すべきは、認知主義的授業設計理論(児童生徒の既有知識と知識構造を事前に分析して授業を組み立てる)!  
(広島工業大学 竹野英敏教授による指導)

授業の中での一人一人の様子から「居場所」づくりの適切性を見取る!(呉市教育委員会 細川裕香指導主事による指導)



### 【今後も目指すべきこと】

- 授業における「居場所」づくりでは
  - ①「わかった・できた」を実感させる
  - ②「絆」を実感させる
- 生活における「居場所」づくりでは
  - ①安心して過ごせるように
  - ②自分なりに「伸びる」目的をもって過ごせるように

以上を実現するための取組のポイントは、校長便り(職員編)13号参照